



5月例会 「ゆとりの森」眺望改善整備 5月22日(日曜)

総勢 32名(地元1名含む)

5班 高杉 浄治

立派な階段が仕上がり、素晴らしい眺望も確保できました。

晴天の中、日中はかなりの気温が上がる予想が出ていました。開会式では、「ゆとりの森」オーナーの沖野様の挨拶の後、班の編成及び作業内容等の説明があり、総勢32名の参加で、班をA～D班の整備班と調理班に編成し、A～Cの班が遊歩道の階段作り、D班が展望台の展望を確保する為の除伐作業を行いました。

午前中は9時半から11時50分、午後は13時から14時30分迄の作業でしたが、人員機材とも異常なく、安全に所要の作業を完了する事が出来ました。

また、昼食にはイノシシ肉を使った「焼きそば」と「しし鍋汁」と「むすび」を頂き、私だけでなく皆さんも大満足の様子で、美味しく召し上がっておられました。

終業のミーティングでは、オーナーの沖野さんから「大人数で作業をしてもらい立派な階段と素晴らしい眺望が

確保できた。」等と、感謝とねぎらいの言葉を頂き、初参加の伊達さん、関東さんからは「楽しかった、また参加したい」との感想を頂戴しました。また、チェーンソーを使っての伐採作業時の安全厳守事項について厳しい提言がなされ、新旧を問わず気持ちを新たにすべきとの貴重な意見も頂きました。安全を第一とし危険防止の為には、更なる研修や訓練を積み重ねる事が必要だと感じました。

昨年、被災した後の「ゆとりの森」は池も周辺も土砂で埋まり、橋も流され土砂が堆積したそうですが、前回の災害復旧作業と今回の整備作業で一段と充実したものになった事を喜ばれていたのが印象に残りました。

最後に調理に腕を振るって頂いた調理班の皆さんとオーナーの沖野様、本当に有り難うございました。



一本一本杭を打ち、立派な階段に仕上がりました。



上:挨拶されるオーナーの沖野さん。下:午後作業前のミーティング打ち合わせと振り返りは欠かせない。真剣そのもの。



安全第一！除伐して景観を取り戻す



お昼の豪華なメニューに大満足。



お昼を作り終え、ホッと一息。実はこのブランコも、災害時は土砂にすっぽり埋まっていた。。